

小教区紹介

観音寺教会 (香川)



ミサ後に茶話タイム

観音寺教会は香川の西端に位置する観音寺市に、マンソ神父様を中心に本

また年に一・二度は女性コースコンサートも

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

また教会に付属する幼稚園の園児たちの元気な

声もこぼれ、ボーイスカウトも順調に隊員が増

えています。この未来ある青少年たちに未来の夢

を託したいと思えます。毎日の中で神と

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎

えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間を

かけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(Sr・長 美喜)

この聖書講座を始めると、西川助祭は、みことばと出会

い、研究し、分かち合

い、祈る、ことを通じて、100週間て全聖

書を完読することを目指すといわれ、終始熱

心に指導された。期間は、当初予定の2倍の200週

間になったが、目標を達成することができた。

キリスト信者である限り、生涯で一度は旧約・新約の

最大の異端ケノシス主義」についてとしました。

11月4日には福岡キャンパスで「召命の集い」

の行事が行われる日でもとても喜んでいきます。

わずか数週間のうちに気候が冬らしくなっ

て、神学生たちの中でも風邪に罹る人達が目立ち始

めました。また、教区民の皆様、何よりも健康に留

意してください。

この冬休み、ご降誕節に元気な姿で、また会える

ことを楽しみにしながら、皆さんのためにお祈り

します。

西川康廣 助祭

全聖書を通読したいと思うのは自然であろうが、いざ、これを実践するとすると、多くの困難があり、挫折することが多い。幸いにも、人生の終末期の80歳代になって通読することが出来た喜びは、一生の良い記念となった。この聖地巡礼についての総合的な所感はこの通りである。

巡礼の旅は、出会いの旅であり、発見の旅であった。それは、神との、人との、そして自分との新しい出会いであり、「人ある。これまでは、聖書を読むことは、み言葉が語られた背景すなわち時期、場所、機会などを知的に理解することに偏って、み言葉自身が自分に何を求めているのかを素直な気持ちで「聴く」ことが、おろそかにされていたことを反省している。

それは、大祭司エリに仕えていた少年サムエルが、お話し下さい。僕は、聞いておきます。」と応えておりました。久しぶりには教区に帰って記念式典に参加できると喜んでいきます。

2007年の秋から始まった「聖書100週間」、しかし期間に拘るよりは、むしろ聖書をしっかり生きる講座に力を入れてきた。開始から丸6年を経過した今年、12月16日を以って15人の仲間が旧・新約聖書全体を読み通すことができた。

その喜びを、受講者一人一人の声を直接読者の皆さんへシリースで届けたと思っています。彼らの声を聞いて、一人でも多くの方が聖書と出会う喜びを自分のものとして頂ければ幸いです。

本部事務局長 西川康廣 助祭

全聖書読み終えて①

全聖書を通読したいと思うのは自然であろうが、いざ、これを実践するとすると、多くの困難があり、挫折することが多い。幸いにも、人生の終末期の80歳代になって通読することが出来た喜びは、一生の良い記念となった。この聖地巡礼についての総合的な所感はこの通りである。

巡礼の旅は、出会いの旅であり、発見の旅であった。それは、神との、人との、そして自分との新しい出会いであり、「人ある。これまでは、聖書を読むことは、み言葉が語られた背景すなわち時期、場所、機会などを知的に理解することに偏って、み言葉自身が自分に何を求めているのかを素直な気持ちで「聴く」ことが、おろそかにされていたことを反省している。

それは、大祭司エリに仕えていた少年サムエルが、お話し下さい。僕は、聞いておきます。」と応えておりました。久しぶりには教区に帰って記念式典に参加できると喜んでいきます。

2007年の秋から始まった「聖書100週間」、しかし期間に拘るよりは、むしろ聖書をしっかり生きる講座に力を入れてきた。開始から丸6年を経過した今年、12月16日を以って15人の仲間が旧・新約聖書全体を読み通すことができた。

その喜びを、受講者一人一人の声を直接読者の皆さんへシリースで届けたと思っています。彼らの声を聞いて、一人でも多くの方が聖書と出会う喜びを自分のものとして頂ければ幸いです。

本部事務局長 西川康廣 助祭

共に自分を見つめる唯一の贅沢な時間として、このままずっととまっとうして居たい気持ちが抑えられなくなってきました。一人一人の世界が展開し、神が共にいまして語り合

う大切な時をこわしたくないという思いに駆られます。そんな時も、分かち合いに転換し、互いに心をかよわせ、開き、語り合う仲間になれること

はうれいものです。信仰年に相応しい良い時を戴いて喜んでいきます。(マリア・和田伸)

新しい発見の連続

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間をかけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(Sr・長 美喜)

この聖書講座を始めると、西川助祭は、みことばと出会

い、研究し、分かち合

い、祈る、ことを通じて、100週間て全聖

書を完読することを目指すといわれ、終始熱

心に指導された。期間は、当初予定の2倍の200週

間になったが、目標を達成することができた。

キリスト信者である限り、生涯で一度は旧約・新約の

最大の異端ケノシス主義」についてとしました。

11月4日には福岡キャンパスで「召命の集い」

の行事が行われる日でもとても喜んでいきます。

わずか数週間のうちに気候が冬らしくなっ

て、神学生たちの中でも風邪に罹る人達が目立ち始

めました。また、教区民の皆様、何よりも健康に留

意してください。

この冬休み、ご降誕節に元気な姿で、また会える

ことを楽しみにしながら、皆さんのためにお祈り

します。

西川康廣 助祭

自分を見つめる時間

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

には導入のことに促されて神と語り合う沈黙の時

が与えられ、既に五十回を迎えましたが、毎

日がともなう新鮮に感じられます。参加するた

びに、活動の場も広がっております。この未来ある

青少年たちに未来の夢を託したいと思えます。

毎日の中で神と

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎

えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間を

かけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(マリア・和田伸)

自分を見つめる時間

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

には導入のことに促されて神と語り合う沈黙の時

が与えられ、既に五十回を迎えましたが、毎

日がともなう新鮮に感じられます。参加するた

びに、活動の場も広がっております。この未来ある

青少年たちに未来の夢を託したいと思えます。

毎日の中で神と

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎

えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間を

かけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(マリア・和田伸)

自分を見つめる時間

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

には導入のことに促されて神と語り合う沈黙の時

が与えられ、既に五十回を迎えましたが、毎

日がともなう新鮮に感じられます。参加するた

びに、活動の場も広がっております。この未来ある

青少年たちに未来の夢を託したいと思えます。

毎日の中で神と

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎

えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間を

かけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(マリア・和田伸)

自分を見つめる時間

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

には導入のことに促されて神と語り合う沈黙の時

が与えられ、既に五十回を迎えましたが、毎

日がともなう新鮮に感じられます。参加するた

びに、活動の場も広がっております。この未来ある

青少年たちに未来の夢を託したいと思えます。

毎日の中で神と

レクツィオ・ディヴィーナを始め、50回目を迎

えました。参加するまで

は、「みことば」を祈りの対象として、時間を

かけて、心静に、神と対話しながら味わうという

経験がなかったため、こ

んなに恵まれました。大変充実した毎日を過ご

しています。月二回はありますが、一つの「み

ことば」を、参考箇所も加味して、真の意味を味

わう事は、大変意義深い事であると思えます。ま

た、「分かち合い」にな

って来ました。

神様のご丁寧な指導や解説資料によって、みこ

とばに深く触れることが出来るようになり、自分

の固定観念に新しい息吹が注がれ、新しい気づき

や受け止め方が出来る実りが与えられるようにな

ってきました。

また、私が一番心を打

たれたのは、グループの皆さんと共に分かち合

いでした。感じたことを自由に分かち合うこと

で、互いに心が開かれ、日常生活で起る隣人の

苦しみや喜び、楽しみにも共感することが出来る

ようになりました。これからもなお続けられる様

にと、聖霊のお導きを祈りたいと思えます。

(マリア・和田伸)

自分を見つめる時間

御言葉に耳を傾け、祈りを求めている頃、レク

ティオ・ディヴィーナが始まりました。未熟な私

には導入のことに促されて神と語り合う沈黙の時

が与えられ、既に五十回を迎えましたが、毎

日がともなう新鮮に感じられます。参加するた

びに、活動の場も広がっております。この未来ある

第19回日韓司教交流会が2013年11月12日から14日まで金沢市内のホテル、金沢教会などで開催され、日本側から全司教17人、韓国からは18人の司教と1人のベネディクト会大修道院長、通訳者と両国司教協議会の事務局担当者らが参加した。日韓司教交流会は日韓両国が共通の歴史認識を持つこと1996年に始まった。

韓国運動家の碑に献花 金沢で日韓司教交流会

者が岐阜県・白川郷などを回った。12日は両会長のあいさつと全参加者の自己紹介の後、日本側が講演を行いホアン・マシア神父(イエズス会)がテーマ「教皇ヨハネ23世『地上の平和』の背景、現代世界に対するその意味と影響」について詳しく説明した。

13日の韓国側講演はスーウォン教区のイ・ソンヒョ補佐司教が「Pacem in Terris 現在においても現実性のある勧告」と題し、話した。その後、あいにくの雨の中、兼六園を散策した。

午後は金沢教会で、高山右近の一つの書状について、石川県立美術館の村瀬博春(ひろはる)さん(東京・麹町教会所属)が説明。その場で、両国会の人々によって、両国司教に抹茶が振る舞われた。さらに、1932年に上海で爆弾事件を起こし、金沢で処刑された韓国独立運動家、ユン・



ホングル(尹奉吉)の埋葬跡地と記念碑を訪問して献花と祈りをささげ、占領時代の人物に思いをはせ共に祈ったことは意義深いことだったと、司教らは感想を述べた。

最後の全体会で、5つのグループに分かれ、今回の交流会で学んだことを確認し合い、来年20回目の交流会のテーマの希望を出した。来年、再来年と行われるシノドス(代表司教会議)に自身のチェジュ教区の海軍基地建設反対運動に触れたい。この問題で3人が収監され、2人が起訴されている。その中で、韓国で初めて、このミサの日、司教によるお見舞い、神連帯する司教修道者が多く裁判所に行く。「パーチェム・イン・テリスの4つの柱のうち、正義は正義を守るために働いている人。イエスの足跡をたどっている人だと思おう。司教たちも一緒に祈ってほしい」と語った。

最終日の14日はカンソス(代表司教会議)に合身、チェジュ教区の海軍基地建設反対運動に触れたい。この問題で3人が収監され、2人が起訴されている。その中で、韓国で初めて、このミサの日、司教によるお見舞い、神連帯する司教修道者が多く裁判所に行く。「パーチェム・イン・テリスの4つの柱のうち、正義は正義を守るために働いている人。イエスの足跡をたどっている人だと思おう。司教たちも一緒に祈ってほしい」と語った。

ネットを宣教のツールに 全国教区広報担当者会議



植井理行氏
菊池功司教

10月15日から17日まで、東京・潮見の日本カトリック会館で「全国教区広報担当者会議」が開かれ、ことしは11教区から14人が参加した。

2日目の講演があり、1日目午後には、菊池功司教(新潟教区)が「広報教令50周年を迎えた今、ソーシャルメディアを生かした教会に向かおう」と題し、「第2パチカン公會議の教令、その後教皇庁広

報評議会から出された指針、さらに、ことしの世界広報の日メッセージを用いて、現代世界において、カトリック広報が目指すべき道筋について話した。ことに現代におけるネット利用について、慎重さをもちつつ、しかし積極的に対話のツールとして利用し、福音宣教に資するものとするよう、菊池司教は参加者に呼び掛けた。

2日目午後の講演では、TBSテレビ編成局メディアライツ推進部の植井理行さんが「ネット上での著作権・肖像権について」と題し、教区報などの紙媒体、ホームページなどのネット上で留意すべき著作権や肖像権の問題について概説した。さらに、各参加者からは個別の事例について質問が出され、著作権なしで利用できるもの、著作権を侵害することになるものなど、具体的に説明してもらった。



その他、各教区での紙媒体、ネット利用の広報の現状、問題点などの情報交換も行われた。教区間、中央協議会と教区広報間の連携をさらに深めるための連絡方法も検討された。次年度も、教区広報の技術向上のため同様の会議を開催する方向で、候補となるテーマが参加者から集められた。教区広報に関する諸問題の中で、基本的な在り方を確認する意味において大変貴重な事柄への示唆に富んだ研修会となった。

電車を出掛けると、私は、窓際の席に座って、遠くに広がる景色を眺めていました。晴れ渡った空の下に、乾いた冬の大地が広がっていました。しばらく眺めていると、私の頬は火照り、身体が汗ばんできました。気が付くと、春のような陽光の光が、車窓一杯に射し込んでいました。あちこちから、シェードを降ろす音が聞こえてきます。この光を遮るために、私も当然のようにシェードを降ろしました。少し前まで賑やかに感じていた電車の中が、なんだかかひっそりと静まったように思えました。

私は、手に持った本を読み始めました。シェード越しにきらめく柔らかな光は、私の頬や本を持

「世の中の考え方と、信仰を生きることに今も隔たりがあるが、こうしたことから学ぶべきものがあった」と語った。

最終日の14日はカンソス(代表司教会議)に合身、チェジュ教区の海軍基地建設反対運動に触れたい。この問題で3人が収監され、2人が起訴されている。その中で、韓国で初めて、このミサの日、司教によるお見舞い、神連帯する司教修道者が多く裁判所に行く。「パーチェム・イン・テリスの4つの柱のうち、正義は正義を守るために働いている人。イエスの足跡をたどっている人だと思おう。司教たちも一緒に祈ってほしい」と語った。

「50周年記念ミサでの青年たちの発表がとても印象的でした。」との声をたくさん聞きます。あの発表までのプロセスでは、まず諏訪司教様と共に数人の青年が、イエスと徴税人サアカイの作り直しました。表の中にあ



出合いの話を観望してじっくり味わいました。そのことを基にして「どんな教会になりたいか」のアイデアを出し合い、KJ法でまとめて表にし、一人の青年がその説明文を朗読しました。表の中にあ

若い力 「こんな教会になりたい」 教区設立50年の集いから

「50周年記念ミサでの青年たちの発表がとても印象的でした。」との声をたくさん聞きます。あの発表までのプロセスでは、まず諏訪司教様と共に数人の青年が、イエスと徴税人サアカイの作り直しました。表の中にあ

2013年12月3日、「一粒会の集い」をカトリック四国会館で開催しました。3人の神学生たち(宋、ヨゼフ、高山)諸兄の近況報告、そして2014年2月23日(日)に宋神学生の助祭叙階式、3月27日(金)ヨゼフ神学生の朗読奉仕者選任式と高山神学生の助祭司祭候補者認定式の予定が発表されました。場所は、召命と養成のため、祈りと犠牲を捧げ、献金し、召命促進運動を行います。召命と養成のためのご協力、ご支援を今後ともよろしく願います。

一粒会担当司祭 松永洋司

短歌
クリスマスプレゼント給い
写植する手の動くテンポ常より早し
目覚めれば生命のあるを嬉しみて
朝の静寂に鳴く鳩を聞く
人のためになまぬは何の生命かと
キリスト叱り今朝の腹痛ぞ
食足りて腹満ちいれどわが胸の奥
底に棲む何ゆえの餓鬼

神を観想し、その実りを人々に伝えよ

聖ドミニコ宣教修道女会

医療のともしび (38)

医師の勉強法

医学部で6年間基礎を習得し、卒業後臨床研修を指導医のもとで数年行います。この間 先輩医師から直接指導を受けたり医学書を読んだり、学会や研究会に参加したり、論文を読むこと書く事が重要で、ここで学習の基礎が築かれます。研修医を終えたあとは この勉強方法を継続しながらの深化が求められることになります。

卒業後、約10年を経過するころには、世間的な言い方をすれば一人前として認知されますので、手取り足取りの勉強は期待できません。かわって、次第に自主的な勉強が多くなってきます。ということは、勉強を怠ると医学の進歩についていけなくなるということです。ですから全ての医師が積極的に最新の医療知識を身に付けるように求められています。

医療分野にも日々新しい知識と技術が生まれています。たとえば 私の整形外科では、手術の時に患者さんに使用する骨接合時材料はどんどん新しいものが生まれ 供給されています。10年前の手術手技ではもう間に合わないといったことが頻繁に起こるわけです。インプラントの素材が改良されたり、形状が変化したりなどのマイナーチェンジから、新しい手術手技などのメジャーチェンジ

まで様々です。ですから医師を続ける以上は毎日の勉強の継続が求められているのです。

日常、診療を終えた夕方から勉強を始め、18時ころから勉強会に出ることや、ゆっくりと医学書や論文に目を通すのもそうです。また週末や休日に学会に出張をすることも年に数回あります。日中に勉強する時間がとれればいいのですが そんな医師はほとんどいないでしょう。



かかりつけの医師にあつたとき、上記の医師のライフワークに思いをはせるのもいいかもしれません。

最後に、私にとって最強の教科書は患者さんであると思っています。医師が自己学習し、実践で体得した時に起こる納得感や患者さんから得ることしか出来ません。医療の評判がいいとしても、目の前の患者さんがよくなるかどうか検証しなくてはなりません。「今日はいかかですか?」という質問をすることが多いですが、これは患者さんの状況を把握すること以外に、医師が提供した医療について結果がどうだったのかの検証をするという意味合いも含まれているわけです。

坂出聖マルチン病院 整形外科 田賀谷健一

教区スケジュール

- 1月
1日(水) 神の母聖マリア(祭) 世界平和の日
3日(金) イエスのみ名
5日(日) 主の公現(祭)
12日(日) 主の洗礼(祝)
13日(月) 聖ヒラリオ司教教会博士 成人の日
17日(金) 聖アントニオ修道院長(記)
18日(土) 聖母の土曜日 キリスト教一致祈禱週間(〜25日)
19日(日) 年間第2主日 エキュメニズムミサin桜町10:00
21日(火) 聖アグネスおとめ殉教者(記) 司祭評議会 10:30
25日(土) 聖パウロの回心(祝) 宣教司牧評議会役員会
26日(日) 年間第3主日
28日(火) 聖トマス・アクィナス教会博士(記)
31日(金) 聖ヨハネ・ボスコ司祭(記)
2月
2日(日) 主の奉獻(祝)
6日(木) 聖アガタおとめ殉教者(記)
5日(水) 日本26聖人殉教者(祝)
9日(日) 年間第5主日 溝部脩名誉司教・叙階50周年記念
10日(月) 聖スコラスチカおとめ(記)
11日(火) 建国記念日
14日(金) 聖チロロ隠世修道者 聖メトジオ司教(記)
16日(日) 年間第6主日
22日(土) 聖ペトロ使徒座(祝)
23日(日) 年間第7主日

告知板

高松教区青年の集い

テーマ:「わたしたちが教会です」

期日:2014年1月18(土)/19日(日)
場所:聖カタリナセミナーハウス
申込先:Br.八木信彦 090-9775-0084
申込締切:2014年1月6日
対象:18歳(高校生は除く)〜35歳
参加費:2000円
時間割:1月18日(土)
17:30 セミナーハウス集合・受付
17:40 祈り・オリエンテーション・自己紹介
18:00 夕食・片づけ
19:30 セッションI
20:30 レクリエーション・休息
21:15 セッションII
22:15 寝る前の祈り
22:30 交流会〜
19日(日)
7:45 朝の祈り
8:00 朝食・片づけ
9:00 セッションIII
10:00 レクリエーション
11:00 昼食準備・昼食・片づけ
13:00 セッションIV
14:00 ミサ準備 14:30 ミサ
15:30 記念撮影・解散

基本的に全日参加、部分的な参加も相応にお心じます。参加費等参加をきりかためることがないよう、全額が難しい場合、遠慮なくお知らせください。また集い開催に援助できる場合は、ご協力をよろしくお願いいたします。持ち物:筆記用具、保険証コピー、各自宿営に必要なもの

高松教区サポートセンター 大阪教会管区 大船渡プロジェクト
(2011年12月〜)
お米券キャンペーン!
被災された方へ 食味期限を知らぬ方へ 愛の奇跡に感謝して頂きますか
鼠の長い支那の在り方として最善のガチ!
TSC 大阪教会管区(名古屋・大阪・京都・広島・高松)は 大船渡ベース(神戸・長崎)で活動しています
ボランティア募集中! TEL 070-5512-6810 E-mail: tk-koho@skai.netwave.or.jp

私は今回、第二の柱の主旨によって活動している、福島県白河市の「白河みずくの会」、仙台市八木山の「八木山オリーブの会」、東仙台北の「あけぼの会」、そして第一の柱であるカリタスベースの石巻ベースと大船渡ベースを訪ねることができました。

今、仙台教区では二つの柱で被災地支援が行われています。一つはカリタスジャパンが被災地に設置したカリタスジャパンの各ベース。もう一つの柱は仙台教区の平賀司教様が出された仙台教区へ46・56計画です。これは国道4号線沿いにある内陸部の諸教会が国道6号線および45号線沿いにある大きな被害を受けた人々を支援するというものです。



そこで見つけた「私にも出来ること」をみなさまにお知らせして支援の輪を広げていただければと願っています。前回、訪ねた時は各支援の会が企画したお祭り(お花見・夏祭り・クリスマス会等)に必要なものを支援したいと思いましたが、そして、愛媛からも応援していることが分かるように、愛媛の名産品や、土

物品購入で支援の輪を

できること探し 被災地訪問

にきていた子でしたから。被災された方への支援を模索していた私は、素早い彼たちの行動を見習って今出来ることから始めようと思ひ、郡中教会の天使会を基盤に支援の輪を広げていきました。

去年9月中旬に3度目となる10日間の「出来ることを探しに」被災地訪問の旅をしました。

今、仙台教区では二つの柱で被災地支援が行われています。一つはカリタスジャパンが被災地に設置したカリタスジャパンの各ベース。もう一つの柱は仙台教区の平賀司教様が出された仙台教区へ46・56計画です。これは国道4号線沿いにある内陸部の諸教会が国道6号線および45号線沿いにある大きな被害を受けた人々を支援するというものです。

たたとえば、仮設住宅の集会所でみなさんが集まって作っている手芸品や小さな商店(特にカリタスが復興支援してできた仮設商店街)の商品などです。

連絡(電話)をすれば喜んで送って下さいます。教会パ

サーの時、また教会で何かのパーティーがあるとき、東北の物を味わってみるのもいいかなと思っています。

この紙面に目を通された方で、資料等がご用な方は今泉(TEL089-98822089)までご連絡下さい。注文先や品物についてお知らせ致します。

最後に、今回の東北訪問でお会いした中で忘れられない方々をご紹介します。

お一人は大船渡ベースから派遣されて行った陸前高田市の養護老人ホーム「松原荘」で車椅子を押してお部屋までお連れした方で、「婆ちゃんが津波に流されて死んでしまった」と奥さんのことを話して下さり、二人で泣きました。

話を交えても最後は「流されてしまったので終わる会話と一緒に泣くことしかできませんでした。

もうお一人は大船渡での夜、仮設の「大船渡屋台村」で出

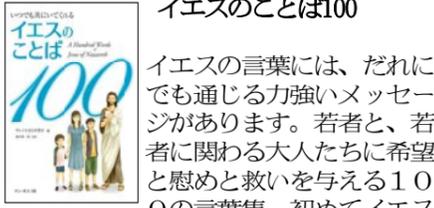
新刊書籍紹介

結婚の手続きと典札準備のハンドブック



「カトリック教会での挙式を希望されるお二人とその準備に同伴される奉仕者のために」信者と未信者の場合、信者同士の場合など、さまざまなケースを念頭に、現場で実際にどのように準備をしたらよいかを解説する。教会必携の一冊。
目次:「挙式の希望とおもな手順」「民法および教会法上の要件」「結婚講座への出席」「カトリック教会の結婚観」「婚約式(任意)の典札準備」「結婚式の典札準備」「その他の準備」「結婚式の後にも」
白濱 満=聖ザビエル典札研究室代表 著
稲川保明 校閲 (A5判・104頁・定価1050円) 教友社

いつでも共にいてくれる イエスのことば100



イエスの言葉には、だれにでも通じる力強いメッセージがあります。若者と、若者に関わる大人たちに希望と慰めと救いを与える100の言葉集。初めてイエスに出会う人も思わず親しみを感じる解説付き。
編者:サレジオ会日本管区 1859年、ドン・ボスコにより創立。青少年、特に貧しく不利な立場にいる青少年のために生涯をささげて働く、カトリックの神父・修道士による修道会。
監修者:浦田慎二郎(うらた・しんじろう) 1971年生まれ。サレジオ会司祭。神学博士。
文庫判(A6判)並製 207頁 定価(本体500円+税) ドン・ボスコ社

さいの時、また教会で何かのパーティーがあるとき、東北の物を味わってみるのもいいかなと思っています。

最後に、今回の東北訪問でお会いした中で忘れられない方々をご紹介します。お一人は大船渡ベースから派遣されて行った陸前高田市の養護老人ホーム「松原荘」で車椅子を押してお部屋までお連れした方で、「婆ちゃんが津波に流されて死んでしまった」と奥さんのことを話して下さり、二人で泣きました。話を交えても最後は「流されてしまったので終わる会話と一緒に泣くことしかできませんでした。もうお一人は大船渡での夜、仮設の「大船渡屋台村」で出

TSC 募金

平素よりTSCへのご理解、ご協力を頂きありがとうございます。今年も「ワンコインボックス」運動も徐々に広がっています。今後もあわせて募金をお願いします。
TSC 高松教区サポートセンター
東日本大震災大船渡支援 献金入金報告(含むお米券)
10・11月分442,005円(内ワンコイン174,478円)
累計14,110,595円

カトリック郡中教会信徒 今泉 洋子

「海は怖いけど、やっぱり海が好きだから」とおっしゃっていたおじいさんとその言葉です。愛媛から来たと言った私の手を握り「ありがとう」がとうとう」と言って喜んで下さいました。
今回もすばらしい出会いを頂きました。神に感謝!
カトリック郡中教会信徒 今泉 洋子

2014年1月1日(第159号)
信者も閉幕を迎え、新年の教区行事も始まり、信者の活動も盛んに行われています。この機会に、信者の活動の様子や、教会の現状について、お話ししたいと思います。
編集後記

医療法人社団聖心会 阪本病院
わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様へ愛され信頼される病院を目指します
院内保育園完備
整形外科・脳神経外科・泌尿器科 皮膚科・外科・消化器外科 産科・小児科・形成外科 呼吸器科・呼吸器内科・内科 リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒769-2602 香川県高松市川口103-1
TEL 0879-25-1121 (代)
http://www.idm-hcg.co.jp/sakamoto/

私たちは、自分を創造しようとするこどもを まなび、護りましょう
暁の星学園
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園